

もくじ

移転する福祉施設が9月1日に開所	2ページ
現地機関見直しを検討する県に要望書を提出	3ページ
平成20年度飯山市表彰式	4ページ
市内中学校の生徒が広島平和記念式典に参加	5ページ
市・県民税が来年度から改正されます	6ページ
いいやまフェスタ 出品作品を募集します	7ページ
飯山市第3次行財政改革②	8ページ
特定健診・後期高齢者健診はお済みですか	10ページ

須多峰介護センター

福祉センター

ゆきんこ園

移転する福祉施設が9月1日に開所します

9月1日、新幹線駅周辺整備に伴う総合福祉センター移転のため新築・改修



完成間近の須多峰介護センター

工事を進めてきた「須多峰介護センター」、「福祉センター」、「心身障害児母子通園訓練施設（通称・ゆきんこ園）」の3施設が開所します。

これにより、4月に「雁木ぶらざ（上町）」に移転した高水福祉会が運営する障害者地域活動支援センターとあわせ、移転がすべて完了します。

市では開所にあたり、各施設の一般開放を下記のとおり設定しましたので、お誘いあわせのうえぜひご覧ください。

なお、これまで総合福祉センターとして使用していた建物は、移転後、今年度中に取り壊す予定です。

新しい施設を一般開放します

●日時 8月30日（土）
午前8時30分～12時
※ただし「雁木ぶらざ」は8時30分から午前11時までとなります。

●見学できる施設
須多峰介護センター、福祉センター、心身障害児母子通園訓練施設、雁木ぶらざ

●お問い合わせ
保健福祉課高齢者福祉係
☎62-3111 内線181

福祉センター（本町）



④開所を間近に控え改修工事が進む福祉センター（8月初旬撮影）

■建物の概要
・構造…鉄骨造3階建て
・床面積…995.87㎡
・旧金融機関建物の改修により整備

■建物内に入る組織・事務局
・飯山市社会福祉協議会
・いいやまNPOセンター

須多峰介護センター（市ノ口）

■建物の概要
・構造…鉄筋コンクリート造平屋建て
・床面積…1324.34㎡

■実施する介護事業
①デイサービスセンター（50人規模）
②ショートステイ（短期入所・定員7人）
③訪問介護
④訪問入浴車派遣
⑤居宅介護支援（ケアマネジャー業務）

■指定管理者
飯山市社会福祉協議会

心身障害児母子通園訓練施設 ゆきんこ園（福寿町）



■建物の概要
・構造…木造平屋建て
・床面積…109.24㎡
・旧ぶなの里の建物の改修により整備

■指定管理者
飯山市社会福祉協議会

飯山建設事務所等の存続を村井知事に直接訴える

現地機関見直しを検討する県に要望書を提出

県が現在行っている現地機関の見直しにあたり、飯山市・木島平村・野沢温泉村・栄村の岳北4市村の市・村長および市・村議会議長などが7月14日に県庁を訪問。飯山建設事務所などの存続を要望しました。

長野県では、県組織のスリム化・効率化を目指しており、現在、長野県行政機構審議会で議論が進められています。これまでの議論に基づき7月に発表された

飯山市農産物産地強化協議会設立総会を開催

農業関係者が一丸となり農業産出額増加を目指す

国内農業生産の増大を先導し、食料自給率向上の中核を担う産地を確立するために農林水産省が今年度から行う、「産地生産拡大プロジェクト支援事業」の採択を受け、7月29日に市役所で飯山市農産物産地強化協議会設立総会が行われました。

この協議会は市、事業の実施主体となる団体、JA、その他農業関係機関で構成。飯山市産地強化計画を策定し、施設・機械等の整備や農業推進施策への支援を受けながら、地域の農業関係者が一丸となり農業生産の拡大に向け取り組んでいきます。

今年度はこの産地生産拡大支援プロジェクトを活用し、施設・機械等整備事業としては北信州みゆき農業協同組合が種籾乾燥調製施設と種籾温湯消毒施設、なべくら高原機械利用組合がアスパラガス生産のためのストーンピッカーを整備。



△この日の総会では規約や諸規定の制定、飯山市産地強化計画の内容の確認などが行われました。

ソフト事業では、東京板橋の商店街で行っている農産物産直販売など消費拡大のための取り組みに支援を受けます。

事業の実施に当たっては成果目標を設定。3年後の農業産出額の増加を目指す。今後事業が行われます。

市長の

悠久のふるさとづくり ③



「悠久のふるさと飯山市懇談会」を各地区で行い、大勢の皆さんにご参加をいただきました。貴重なご意見を多くいただき本当にありがとうございます。

市政運営にあたっては、当初より市民の皆さん及び議会のご意見を基幹とし、「子供には夢と希望を、市民の皆さんには元気を、お年寄りには安心安全を」を政策の重点として取り組んでいます。厳しい財政状況の中、市民の皆さんには我慢するところはご協力をいただき、将来の飯山市振興のために必要な事業には積極的に取り組んでいきます。

今は6年後に開通する新幹線の駅を中心とした整備に全力で取り組んでいます。中央橋をはじめ国道17号、292号、403号の道路整備、そして現飯山駅と新幹線飯山駅との併合、駅名の決定等協力をいただいています。

またお年寄りに安心して過ごしていただくための介護施設の新築をはじめ、福祉センター、母子通園訓練施設等の改築も進んでおり、9月に開所の運びとなりました。心配をおかけしたクリーンセンターも順調に工事が進み、来年4月1日よりオープンができます。

教育面では、柳原・外様保育園の統合を秋に予定しているほか、今より英語指導助手を各中学校に配置し、国際化社会に対応する子供たちを育成する体制を整えました。また、あの戦争で犠牲になった人々を忘れず、平和の大切さを子供たちに引き継ぐため、今年初めて市内中学校の生徒6人に広島平和記念式典に参加してもらいました。

今回、「悠久のふるさと飯山市懇談会」で皆さんからいただいた貴重なご意見は、すぐにできる事は実施し、そうでないものも来年度の計画に反映できるようにしてまいります。残暑続く折、お身体に十分気をつけてお過ごしください。